

(別紙1)

参加希望者の報告等について

以下の要領で「参加希望者名簿」を作成し、平成29年6月5日(月)までに、文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程第三係(kyoiku@mext.go.jp)宛て電子メールにて送信する。

また、その際、各都道府県・指定都市教育委員会の連絡担当者氏名、所属、電話番号、ファックス番号、メールアドレスを下記に基づき明記する。

(名簿作成例)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	県番	県名	学校種	氏 名	所 属 ・ 職 名	第1希望コース		第2希望コース		第3希望コース		協議会	備考
						ｺｰｽNo.	経験等	ｺｰｽNo.	経験等	ｺｰｽNo.	経験等		
2	00	xx県	小学校	00 00	00町立00小学校 教諭	1	A	5	B	9	B	○	
3	00	xx県	中学校	□ □□□	■■市立■■中学校 教諭	2	B	6	C	1 0	C	○	
4	00	xx県	高等学校	△△ △	▲県立▲高等学校 教諭	3	A	7	A	1 1	B	×	
5	00	xx県	教育委員会	◇◇◇ ◇	県教育委員会◆◆課 指導主事	4	B	8	B	1 2	C	○	
			↓連絡担当者										
	00	xx県	教育委員会	◇◇◇ ◇	県教育委員会◆◆課 指導主事	01(234)5678				01(234)9876			
						abcdefg@hi.jk.pref.jp							

① 名簿は都道府県及び指定都市教育委員会の推薦する順位に作成すること。

※ 各都道府県・指定都市から3～6名程度

② 6列目(F列)に第一希望の実技研修のコース、8列目(H列)に第二希望の実技研修のコース、10列目(J列)に第三希望の実技研修のコースを下記の番号で記入する。

番号	コース	番号	コース
1	箏(山田流)	7	邦楽囃子〔笛(篠笛)〕
2	箏(生田流)	8	伝統的な歌唱〔長唄〕
3	箏(どちらの流派でも可)	9	伝統的な歌唱〔謡曲〕(観世流)
4	尺八(琴古流, 都山流)	10	伝統的な歌唱〔箏曲〕(山田流)
5	三味線〔長唄三味線〕	11	伝統的な歌唱〔箏曲〕(生田流)
6	邦楽囃子〔大鼓, 小鼓, 太鼓〕	12	伝統的な歌唱〔箏曲〕(どちらの流派でも可)

③ 7列目(G列)に第一希望の実技研修のコース、9列目(I列)に第二希望の実技研修のコース、11列目(K列)に第三希望の実技研修のコースのそれぞれの経験等を、下記を目安とし、その記号を記入する。

記号	経験等
A	経験があり、曲を演奏することができる
B	少し経験があるが、曲を演奏するまではいかない
C	未経験

※経験等に応じたクラス編成を行うが、当日の状況によりコースの変更があり得る。

- ④ 1 2 列目（L 列）に、閉会式後の協議会（研修の振返りと意見交換）への参加希望の有無を必ず記入する。参加を希望する場合は○印を、希望しない場合は×印を記す。
- ⑤ 過去に本研修会に参加経験のある者については、1 3 列目の備考（M列）に参加年度を記入する。（例「H26参加」）また、その他の特記事項があれば記入する。

【参加希望者名簿作成における留意事項】

- ① 「参加希望者名簿」は、添付のMicrosoft Excelファイルで作成する。
- ② 1 列目（A列）には都道府県・指定都市番号を半角数字で、2 列目（B列）には都道府県・指定都市名を記入する。いずれも全員について記入することとし、空白や「」などとはしない。「都」「道」「府」「県」「市」は省略しない。
- ③ 3 列目（C列）には学校種を、4 列目（D列）には氏名を、5 列目（E列）には所属及び職名を記入する。姓と名の間及び所属と職名の間は全角で1 文字空ける。
- ④ 最終行には各都道府県・指定都市教育委員会の連絡担当者を記入する。本研修会の参加者である場合も必ず再掲する。「第1 希望コース」及び「第2 希望コース」の欄に電話番号を、「第3 希望コース」及び「備考」の欄にファックス番号を、さらに、それらの下の欄にメールアドレスを記入する。
- ⑤ 外字は使用しない。代替可能な文字がない場合は、メールで送信するファイルでは当該文字を「?」とし、正しい文字を記入した名簿をファックスにて送付すること。
- ⑥ 文字のセンタリングや均等割付、罫線等の装飾は不要。
- ⑦ ファイル名は、都道府県・指定都市番号＋「伝音」＋都道府県・指定都市名とする。
（例:12伝音千葉県.xls）。
- ⑧ メールの件名は、「伝音参加希望者名簿（都道府県・指定都市名）」とする。

* 都道府県・指定都市番号は以下により記入する。

01 北海道	02 青森県	03 岩手県	04 宮城県	05 秋田県
06 山形県	07 福島県	08 茨城県	09 栃木県	10 群馬県
11 埼玉県	12 千葉県	13 東京都	14 神奈川県	15 新潟県
16 富山県	17 石川県	18 福井県	19 山梨県	20 長野県
21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県	25 滋賀県
26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県	29 奈良県	30 和歌山県
31 鳥取県	32 島根県	33 岡山県	34 広島県	35 山口県
36 徳島県	37 香川県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県
41 佐賀県	42 長崎県	43 熊本県	44 大分県	45 宮崎県
46 鹿児島県	47 沖縄県	48 札幌市	49 仙台市	50 さいたま市
51 千葉市	52 川崎市	53 横浜市	54 相模原市	55 新潟市
56 静岡市	57 浜松市	58 名古屋市	59 京都市	60 大阪市
61 堺市	62 神戸市	63 岡山市	64 広島市	65 北九州市
66 福岡市	67 熊本市			

【研修で使用する楽器等について】

研修で使用する楽器については、原則として主催者側が準備する。

ただし、箏爪、尺八、篠笛のほか、三味線の撥・膝ゴム・指かけ等の消耗品については、各学校での今後の指導に役立てるため、また、衛生的な観点から参加者での準備をお願いしたい。

＜参考＞昨年度の価格（全て税込）

楽 器 等	金 額	備 考
箏爪（山田流）	10,000円	
箏爪（生田流）	5,400円	
尺八（塩化ビニール製）	2,520円	
尺八（木製）	21,600円～27,000円	
篠笛（塩化ビニール製）	1,800円	※ 持参する場合は、7本笛のものとする。6本笛不可。
撥	4,860円	
指かけ	756円	
膝ゴム	324円	
3点セット	5,940円	撥、指かけ、膝ゴムの3点

※ 購入方法や金額等の詳細は追って連絡する。